

男女共同参画審議会 会議経過要旨

会議名	平成22年度第2回木津川市男女共同参画審議会		
日時	平成23年3月23日(水) 午前10時～11時30分	場所	本庁4-1会議室
出席者	委員 ■:出席 □:欠席	第1号委員 (学識経験者)	■有賀 やよい委員(会長) ■奥村 郁雄委員
		第2号委員 (市民)	□尾崎 田鶴委員
		第3号委員 (各種団体の 代表者)	■今西 チヨ子委員 ■山本 貢委員
		第4号委員 (公募に応じ た市民)	□三浦 喜代美委員 ■浅田 武之委員 ■尾崎 知永子委員 ■廣野 浩委員(副会長) ■本荘 博江委員
	庶務 (事務局)	田中生活環境部長、川崎人権推進課長、 磯田課長補佐	
傍聴者	なし		
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 挨拶 3. 議事 <ul style="list-style-type: none"> (1) 女性の登用状況について (2) 平成22年度男女共同参画推進事業報告について (3) 平成23年度男女共同参画推進事業計画(案)について (4) その他 4. 閉会 		
会議結果 要旨	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 事務局より、開会を宣言した。 2. 挨拶 生活環境部長より、第2回木津川市男女共同参画審議会開催にあたり、挨拶があった。 有賀会長より、挨拶があった。 資格審査について、事務局より報告した。 配布資料について、事務局より確認した。 		

	<p>3. 議事</p> <p>(1) 女性の登用状況について (配布資料 資料1・資料2) 事務局より、資料を基に説明した。</p> <p>(2) 平成22年度男女共同参画推進事業報告について (配布資料 資料3) 事務局より、資料を基に説明した。</p> <p>(3) 平成23年度男女共同参画推進事業計画(案)について (配布資料 資料4) 事務局より、資料を基に説明した。</p> <p>(4) その他</p> <p>4. 閉会</p>
<p>会議経過 要 旨</p>	<p>1. 開会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 挨拶 生活環境部長より挨拶があった。</p> <p>【生活環境部長挨拶要旨】 第3号委員として各種団体の代表者から選出の木津川市農業委員会代表者が前任者の河村穆委員の退任に伴い、後任者として今西チヨ子委員に就任いただいています。任期は23年3月末までですが、よろしくお願ひします。</p> <p>委員の皆様にご審議をいただき、平成21年度に策定した「木津川市男女共同参画計画～新・キラリさわやかプラン～」の推進を図るため、男女共同参画社会の実現を目指し、様々な施策や事業を展開してきました。</p> <p>中でも、相談事業をみると、DVに関する相談は深刻化、長期化の傾向をたどっており、支援体制の強化、被害者の保護、自立支援など庁内関係各課でケース会議を開催するなど、連携を図りながら対応をしてきました。</p> <p>今後においても、男女共同参画の推進につきまして、お力添えを賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。</p>

【会長挨拶要旨】

市が合併して4年ですが、身近な介護・子育てを含め男女が共に助け合っている「新キラリさわやかプラン」をこのメンバーと一緒に作り上げてきました。

その最中、起こった東日本大震災の中でも色々な場面で男女が共に助け合い、未曾有の大災害を乗り越えようとする姿が伝わってきます。私たちも男女共に一緒になってお互い支えあいながら人と地球環境、文化財を残し地域を支える審議会にしていきたいので今後もよろしくお願いします。

資格審査についての報告をした。

【資格審査報告要旨】

本日の出席者数は8名で、木津川市男女共同参画推進条例施行規則第14条第2項の規定「半数以上の出席」を満たしているため、本会議は成立することを報告する。

配布資料について確認をした。

3. 議事

(1) 女性の登用状況について

(配布資料 資料1・資料2)

事務局より、女性の登用状況について、資料を基に説明した。審議会等委員の平成27年度に向けての目標値は35%だが現在の比率は28.5%で府内他市町村の平均値25.3%より3.2ポイント上回っている。

また、審議会等数42のうち女性委員0は7つある。議会議員は、26人中女性は5人、比率は19.2%で、府内他市町村の平均値15.7%より、3.5ポイント上回っている。

管理職の在職状況は、管理職94人中女性は18人、比率は19.1%府内他市町村の平均値12.0%より、7.1ポイント上回っている。

しかし、行政職については79人中5人で比率は6.3%となっており、京都府平均7.3%より1ポイント低い数字となっている。

目標値達成に向け、委員の改選の時期に合わせて、市の各所属に呼びかけを行い、女性委員0の委員会を解消するための調整もしながら、計画的に行なっていく必要がある。

なお、主な意見、質疑は次のとおり。

(○…質疑・意見、⇒…質疑に対する返答)

○公募制にすると女性の登用も多くなるのか。

⇒女性も結構応募があり、若い人や色々なジャンルから手をあげてもらえる。

○公募だと市民が感じている男女の意識が表面に表れるかもしれない。

○管理職の女性の登用状況は。

⇒去年、女性の一般事務職の管理職が2名しかないのは非常に少ないの

ではないかと指摘を受けていた。それが、一年後には5名になった。しかし、議会の議場に入る女性議員は5名いるが、行政側で入るのは河井市長以外全員男性である。

○男女の割合を決めて採用できないのか。

⇒退職者数を見極めて募集計画をまとめるので当然男女の比率というのは基本的でない。今年4月の新規採用は、26名中男女13名ずつである。

⇒職員502名の内訳は、男性282名女性220名で、比率は男性56.2%女性43.8%となる。

○木津川市内の企業の女性の管理職登用状況は。

⇒基本的に少ないと思う。

○民間企業は採用が多い時は男女均等になっているが、経済状況や就職率が厳しくなった時は、特に女性に厳しいとの数字がでている。

○企業の中の風土的なものは、今はまだ遅れている。意識だけではなく、制度的にも女性が登用されにくい。意識の変革・理解など企業の方の努力もお願いしたい。

(2) 平成22年度男女共同参画推進事業報告について

(配布資料 資料3)

事務局より、平成22年度男女共同参画推進事業報告について、資料を基に説明した。

なお、主な意見・質疑等は次のとおり。

(○…質疑・意見、⇒…質疑に対する返答)

○木津川市内で表面化したDV件数はどれくらいあるのか

⇒現在、京都府に1件と他県に2件の母子保護施設の方に今年度入所されている。市を通さず警察や京都府家庭総合支援センターに直接行くケースもある。市民年金課に戸籍の閲覧制限等の制度があってDVの被害者で情報を閲覧できないようにしているのが15件程度ある。

⇒DVについては基本的には人権推進課が窓口になっているが、木津川市全庁をあげて対応していかなければならない。今年度から各関係課で連携をとりながら対応している。

○件数的にも質的にも男女共同参画の「視点」から眺めて解決できるレベルではなくなってきている。行政の組織としてDVを全般的に統括し、その中で、男女共同参画という「視点」で捉えて一本の統括された中で筋の通った組織割りがあってもいいと思う。

⇒今年度の対応では、ネットワーク化という部分で昨年度と違った対応をしている。次年度については、これを組織化することを課題として受け止めている。

○ニュータウンではコミュニティが形成されていないのがDVの解決を遅らせている面もあるのではないか。

○庁内の連携も大事だが、DVの場合は身の安全を考えた時、市町村或

いは都道府県の枠を越えた相談があると聞く。柔軟できめこまかな対応が必要な部分と、全庁をあげてどこの課でも対応できるというくらいの意識をもっていくという両面からの支援体制が必要。

(3) 平成 23 年度男女共同参画推進計画(案)について

(配布資料 資料4)

事務局より、平成 23 年度男女共同参画推進事業計画(案)について、資料を基に説明した。

なお、主な意見・質疑等は次のとおり。

(○…質疑・意見、⇒…質疑に対する返答)

○キラリさわやかフェスタについては、国民文化祭の関係で後にずれるのか。

⇒国民文化祭は 10 月下旬から 11 月の上旬をめどに木津川市としても 6 つの事業を実施する。木津川市全庁をあげた事業なので、それを終えてから 12 月の上旬位に実施したいと考えている。

○人権啓発学習「デートDV防止授業」は他の中学校でも実施するのか。

⇒木津第二中学校の 2 年生の授業で実施したが、「デートDV」という言葉自体知らない生徒もいる中で真剣に聞いていただいた。予防授業としてはよかったと思う。どの中学校で実施するかは決まっていない。

○6 月の「男女共同参画週間」の男女共同参画講座は何をするのか。

⇒料理講座を考えている。

(4) その他

○木津川市のホームページの英語版を作る話は進んでいるのか。

⇒進んでいない。

○ぜひ早く作ってもらいたい。

4. 閉会

その他
特記事項

特になし。